

特別配架(ミュージシャンの執筆本)

4月10日(土)貸し出し開始

パンク侍、斬られて候	町田康	1962年生まれ。1981年パンクバンド「INU」のボーカリストとしてアルバム『メシ食うな!』でデビューし、1996年には処女小説「くっすん大黒」で文壇デビュー、2000年に小説「きれぎれ」で第123回芥川賞受賞。(当館蔵書)以後は主に作家として活動している。 本作は、2004年の諧謔と風刺に満ちた時代小説。2018年に綾野剛主演で映画化された。
微熱少年	松本隆	著者は、1970年代初頭、大瀧詠一・細野晴臣らと結成したロックバンド「はっぴいえんど」のドラムスと作詞を担当。同バンド解散後、作詞家となり太田裕美、松田聖子をはじめ多数のヒット曲を手がける。 本作は、60年代に高校時代を過ごした少年たちの淡く切ない青春を、リリカルなタッチで描いた、作詞家・松本隆の長編小説処女作。なお、鈴木茂のアルバム「BAND WAGON」に同タイトルの曲が収録されている。
原発労働者	寺尾紗穂	1981年生まれ。父はシュガーベイブのベーシスト故寺尾次郎氏。シンガーソングライターとして、2007年アルバム『御身 onmi』でメジャーデビュー。7枚のアルバムを発表している。ライブではピアノの弾き語り演奏を行う。近年では平田敏子の「富士山」、北杜夫「停電哀歌」などにも曲をつけており、詩先の作曲も得意とする。エッセイストとして様々な雑誌等に連載してきたほか、2018年より朝日新聞書評委員を務めている。 本作は、ひとりの音楽家が、平时に働く全国の原発労働者を訪ね歩き小さな声を聴きとった貴重な証言集で、原発をゼロから考えるための必読書だ。
南の島の星の砂	Cocco	1977年生まれ。沖縄出身のシンガーソングライター。1997年メジャーデビュー。ヒット曲「強く儂い者たち」を含む2ndアルバム「クムイウタ」がミリオンセールスを記録。自傷を彷彿とさせる病的な歌詞やオルタナティブなサウンド」が特徴。「南の島の星の砂」で絵本作家としてデビュー。現在まで3冊の絵本を発表している。
南の島の恋の歌	Cocco	「南の島の星の砂」は、島と海の生きものたちと星の砂をめぐる絵本で、大胆かつ繊細な絵が圧倒的。「南の島の恋の歌」は、人魚の切ない恋を通して大いなる愛を描く第2作。